

平成 19 年 10 月 24 日
経済産業省資源エネルギー庁

フィンランド原子力政策講演会の開催について

総合資源エネルギー調査会電気事業分科会原子力部会放射性廃棄物小委員会では、この度、フィンランドのトゥルネン・貿易産業省エネルギー局長を講師に迎え、標記の講演会を開催することになりましたので、お知らせ致します。

1. 日時・場所

平成 19 年 10 月 29 日（月） 15:00～16:30
経済産業省 本館 17 階 国際会議室

2. 内容

フィンランドの原子力政策、特に放射性廃棄物の最終処分政策についての講演（日英通訳付き）

3. 申込み

参加をご希望の方は、氏名・会社名(職業名)・連絡先（電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス）を必ず明記の上、10月26日（金）18:00までに、下記問合せ先まで、電子メールまたはFAXにて登録ください。なお、件名は必ず「フィンランド原子力政策講演会参加希望」と記載ください。希望者多数の場合は抽選とし、参加可能な方のみ当方より整理番号を通知いたしますので、FAXの方は必ずFAX番号を明記してください。当日は、受付にて、整理番号を確認させていただきます。

（お問い合わせ先）

資源エネルギー庁放射性廃棄物等対策室

担当者：大浅田、秋山

電話：03-3501-1511（内線 4781）

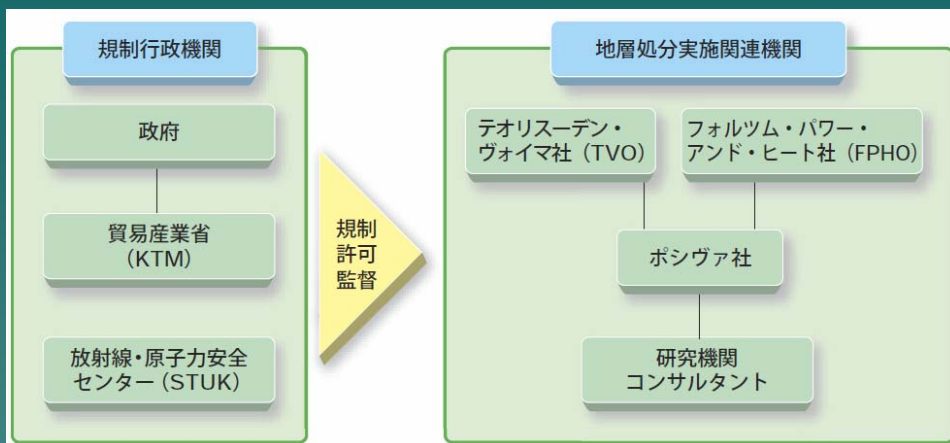
03-3501-1992（直通）

FAX：03-3580-8493

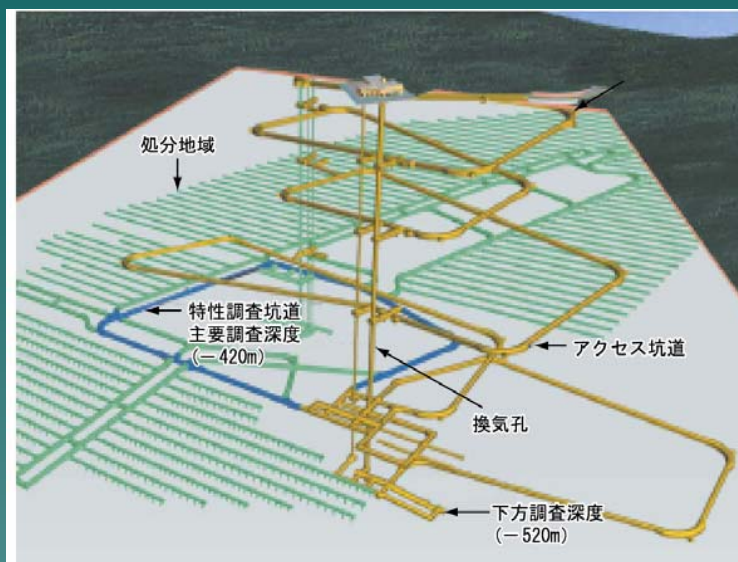
メール：h-shoui@meti.go.jp

参考：フィンランドにおける高レベル放射性廃棄物処分の概要

処分事業の実施体制



地下特性調査施設のレイアウト(オルキオト)



これまでの経緯

- 1983年に政府が処分場サイト選定スケジュール等（段階的な調査の進め方と達成目標）を決定。
- 1983年からTVOが全国を数百ブロックに分割して文献調査により候補地を選別。1985年に候補ブロックの地域名を公表。貿易産業省等のレビューを受けた後、1987年に候補地として5サイトを選定。
- 1988年から5サイトでのボーリング等により、92年に3サイトに絞り込み。
- 1994年にフォルツム社の原子炉から発生する使用済燃料のロシアへの返還が中止。2電力会社が共同出資により1996年にポシヴァ社を設立。ロヴィーサ原子力発電所がある地区が調査対象に追加されて、候補地が4サイトとなる。

- 1998年にポシヴァ社が4サイトについての安全評価書と環境影響評価書を提出。その後、関係機関の意見徴収と地元での公聴会が開催される。
- 1999年にポシヴァ社が、処分場サイトとしてオルキオトを選定し、原子力法に基づく決定手続きを申請。2000年の政府決定、2001年の議会（国会）承認を経て、自治体議会承認により最終処分地が決定。

近況・今後の予定

- 2004年から、オルキオトで地下特性調査施設の建設を開始。この調査施設は、将来の処分場の一部となる。
- 今後の予定
 - 2012年：処分場の建設許可申請
 - 2020年：処分場の操業開始